

増える大腸がん

～早期発見・治療をめざす検診の重要性～



下部消化管外科

衛藤 謙 診療部長

一生のうち、男性は60%以上、女性は50%以上ががんに罹患すると言われています。臓器別がん罹患数では、大腸がんは男性、女性ともに2位になっており、食生活など生活習慣の変化から男女ともに大腸がんが増えています。遺伝的要素や環境因子もありますが、

近親者で大腸がん罹患している方がいる場合には、ぜひ大腸がん検診を受けてください。

大腸がんは検査によって早期発見が可能です。

便潜血検査は簡便に実施できる検査ですので、1年に1回は受けていただきたいと思います。

また、当院の大腸内視鏡検査は鎮痛剤を使って、楽に検査ができるようになっています。ご希望の方はぜひご相談ください。

大腸がんが表面の粘膜に留まっている場合は内視鏡で治療が可能です。一方、より大腸がんが進行している場合は手術が必要となります。腹腔鏡手術は傷が小さいため痛みも出血も少なく、開腹手術に比べて早期に回復が可能です。

ロボット支援下手術は鉗子の先に関節がついているため、より精緻な動作が可能になります。

特に狭い骨盤内の操作が必要な直腸がんに対しては非常に有用です。

臓器別がんの罹患数

	男性	女性
1	前立腺	乳房
2	大腸	大腸
3	胃	肺

臓器別がんの死亡数

	男性	女性
1	肺	大腸
2	大腸	肺
3	胃	膵臓



動画概要

増える大腸がん～早期発見・治療をめざす検診の重要性～
下部消化管外科 衛藤 謙 診療部長

